



平成19年11月20日

## 宿泊旅行統計調査（平成19年1月～6月分）

～九州運輸局管内の宿泊旅行統計調査結果がまとまりました～

国土交通省では我が国の宿泊旅行の実態を明らかにし、その結果を今後の観光政策のために活用することを目的として、観光分野において初めての全国統一の統計調査である「宿泊旅行統計調査」を平成19年1月から四半期毎に実施しています。

この度、九州運輸局管内の宿泊旅行統計調査の平成19年1月から6月までの上半期分を取りまとめましたのでお知らせします。

### 【調査の概要】

#### （1）調査対象期間

平成19年1月～6月の6ヶ月間

#### （2）調査対象施設

従業者数10人以上のホテル、旅館及び簡易宿所1,323施設

従業者数	10～29人	30～99人	100人～	計
施設数	756	441	126	1,323

（注）全国では10,406施設

#### （3）回収率

1月～3月 74.9%（991施設）

4月～6月 75.1%（994施設）

（注）全国では、1月～3月が71.7%、4月～6月が72.1%

調査結果の詳細については、別紙のとおり。

#### 【問い合わせ先】

九州運輸局企画観光部観光地域振興課

（担当）押井、稲葉

（電話）092-472-2920



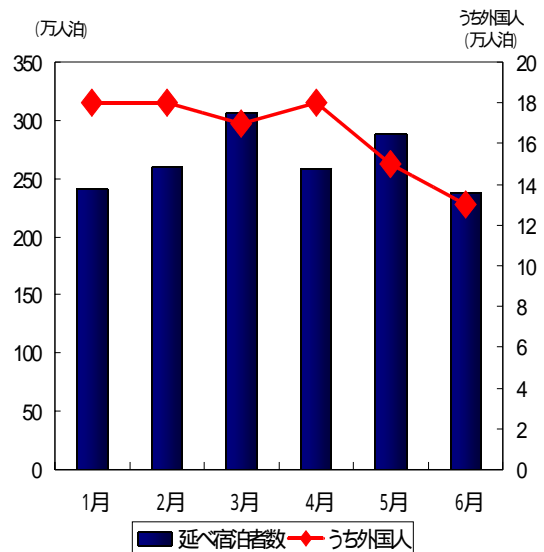
【宿泊旅行統計調査結果の概要（平成19年1月～6月分）】

(1) 延べ宿泊者数

延べ宿泊者数は、1,590万人泊で、うち外国人は98万人泊で宿泊者全体に占める割合は6.2%である。（対全国シェア：延べ宿泊者数11.0%、外国人9.5%）

月別延べ宿泊者数

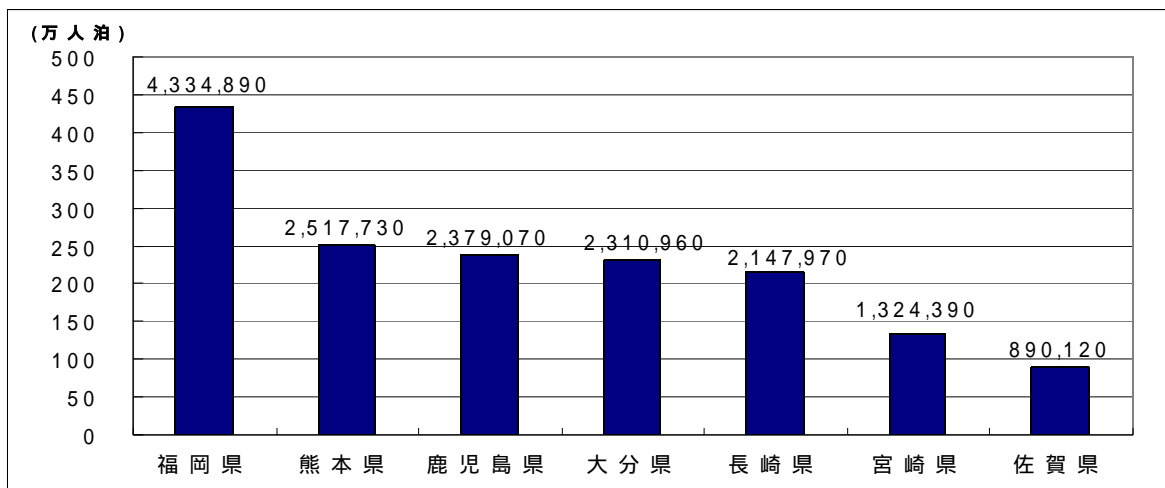
	延べ宿泊者数 (人泊)	うち外国人	
		(人泊)	シェア
1月	2,402,420	178,820	7.5%
2月	2,598,680	177,730	6.9%
3月	3,060,110	169,210	5.6%
4月	2,590,620	180,870	6.9%
5月	2,876,830	146,060	5.2%
6月	2,376,500	130,450	5.5%
合計	15,905,160	983,140	6.2%
全国	144,185,270	10,369,650	7.2%



(2) 九州各県別延べ宿泊者数

各県別延べ宿泊者数は、福岡県が最多（12位）続いて熊本県（20位）、鹿児島県（21位）、大分県（22位）、長崎県（24位）、宮崎県（36位）、佐賀県（41位）の順となっている。（ ）内は全国順位

九州各県別延べ宿泊者数

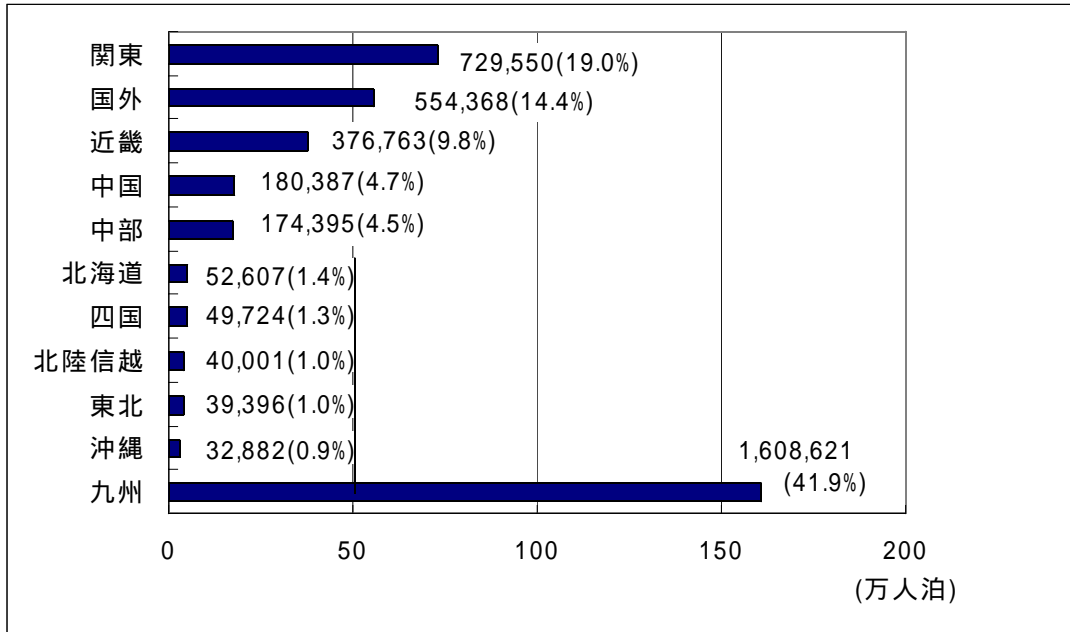


各県の数字は人泊



(3) 居住地別延べ宿泊者数（流動状況：従業者数100人以上の施設が対象）

居住地別延べ宿泊者数の流動状況は、九州域内での流動が4割を占め、続いて関東、国外、近畿、中国の順となっている。



各地域の数字は人泊

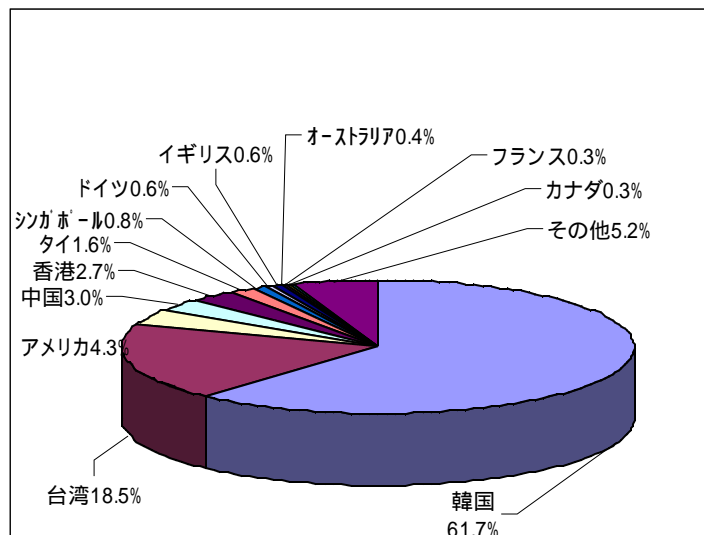
(4) 国籍別外国人延べ宿泊者数

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位の韓国が6割を占め、以下第2位が台湾、第3位がアメリカの順となっている。

全国では、韓国(シェア:18.9%)、台湾(シェア:18.4%)、アメリカの順(シェア:13.8%)

国籍別外国人延べ宿泊者数

順位	国籍(出身地)	合計(人泊)	シェア
第1位	韓国	579,020	61.7%
第2位	台湾	173,350	18.5%
第3位	アメリカ	40,770	4.3%
第4位	中国	28,550	3.0%
第5位	香港	25,440	2.7%
第6位	タイ	15,080	1.6%
第7位	シンガポール	7,960	0.8%
第8位	ドイツ	5,350	0.6%
第9位	イギリス	5,230	0.6%
第10位	オーストラリア	3,600	0.4%
第11位	フランス	2,810	0.3%
第12位	カナダ	2,790	0.3%
	その他	48,730	5.2%
	合計	938,680	100.0%



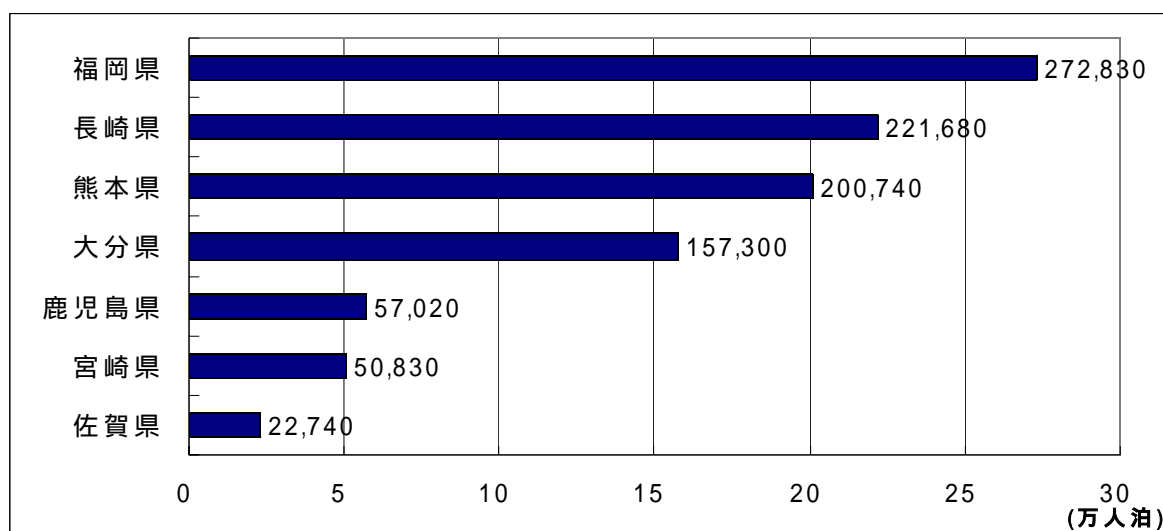
国籍不詳を除く：44,460人泊



(5) 九州各県別外国人延べ宿泊者数

九州各県別外国人延べ宿泊者数は、福岡県が最多（8位）、続いて長崎県（9位）、熊本県（11位）、大分県（14位）、鹿児島県（23位）、宮崎県（25位）、佐賀県（36位）の順となっている。（ ）内は全国順位

九州各県別外国人延べ宿泊者数



各県の数字は人泊